



高槻ロータリークラブ  
2016~2017  
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなの為になるかどうか

事務所 オーロラモール高槻西武6階 〒569-1116 高槻市白梅町4-1  
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174  
 E-mail [takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp](mailto:takatsuki.rc@bird.oce.ne.jp)  
 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
 例会場 オーロラモール高槻西武6階 多目的ホール TEL 072-684-5379  
 創立 1954年6月15日  
 会長 藤井敏雄 幹事 入谷治夫 クラブ運営委員長 小阪大輔 会報担当副委員長 山室匡史

No.32 2017年3月15日 発行

3月は水と衛生月間

第3065回 本日(3/15)の例会

- ◎ソング...日も風も星も
- ◎2月度皆出席表彰
- ◎卓話 スピーカー...石田 佳弘君  
 テーマ...「脂肪酸について」  
 スピーカー...稲富 博文君  
 テーマ...「オイルの役割」

皆出席表彰

小山 彰夫君 通算3年  
 篠原 光子君 連続2年  
 山室 匡史君 連続1年

先週(3/8)の例会から

◎ゲスト・ビジター 計0名

◎会長の時間(会長代理:副会長 伊藤智秋)

第3066回 次週(3/22)の例会

- ◎ソング...手に手つないで
- ◎卓話  
 スピーカー...高槻中学高等学校IAC  
 テーマ...活動報告(予定)  
 スピーカー...羽根田 茂子君  
 テーマ...「未定」

今年度、高槻ロータリークラブの国際奉仕事業では「地区補助金」を利用してマレーシア・ブキビンタンRCと共に「デング熱撲滅プロジェクト」を展開致しました。撲滅と言っても、デング熱を媒介する蚊を出来るだけ駆除しようという啓発になります。会長が3月4日に参加され、非常に素晴らしいキャンペーンを張ることが出来たという事です。詳細は来週、会長が紹介して下さいとの事です。

先日、地区国際奉仕委員会が各クラブにアンケート調査を行いました。「海外姉妹クラブ・海外友好クラブ アンケート調査」というものです。当クラブではオーストラリア・トゥンバ東RCと姉妹提携をしていますし、マレーシア・ブキビンタンRCと友好クラブになっています。アンケートの結果 81クラブ中64クラブの回答での中間集計によると、海外姉妹クラブ・海外友好クラブを持っているのは84% 無しが16% 相手先は台湾...29クラブ、韓国...17クラブ、フィリピン8、タイ6、オーストラリア5、ハワイ4、アメリカ3、香港3、シンガポール3、その他イギリス、デンマーク、ドイツ、スリランカ、マレーシア、ネパール、ニュージーランド。立消えになった姉妹クラブがオーストラリア、アメリカ、カナダ、フィリピン、韓国、ブラジル、タイ、チリ、バングラディッシュ、ハワイ。立消え理由は相互訪問が出来ない、交流担当会員がいなくなった、連絡不通、意思の疎通が取れなかった、遠距離である等々。

高槻RCのこの度の国際奉仕活動の場合、プランを考えて

※ 次々週(3/29)定款による休会

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
50名	40名	86.96%
前々回例会補正後出席率	97.83%	%
但し、Mup 8名	欠席者 1名	
出席規定適用免除有資格者	5名	

お金を出して、ロータリー財団から補助金をもらう。ここまではクラブ国際奉仕委員会の委員長初め委員の皆様の努力です。しかし、現実にデング熱を撲滅するのはマレーシアです。キャンペーン用の旗一枚にしても日本で用意するのではなく、マレーシアの現地調達となります。マレーシア人がキャンペーンを行い、マレーシア人を啓発します。実施のスケジュールはマレーシアのプキビンタン RC が主体という事になります。その結果、突然「やりますから来てください。」などと言うことになって会長が単身マレーシアを訪問することになったわけです。このあたりが国際奉仕を行う上での難しいところです。海外のクラブと一緒に何か事業に取り組みたいと考えた時、意思の疎通がしっかりと出来、交流しやすい距離にあるというのが国際奉仕を行いやすい環境だといえます。一方、ロータリーであるからこそ付き合える国とか、理解の範疇を越えたところにある協力といったこともあると思います。

繰り返しになりますが、つい4日前、高槻ロータリークラブが提唱クラブになった「デング熱撲滅プロジェクト」が3月4日にマレーシアで実施されました。「ああ、やっとなされたのか。」と思われた方、ご心配をお掛けしましたが、急な事であり、諸事情ございました。まさか「全然知らなかった。このメールは何ですか？」などと言われる方はいらっしゃらないと思います。

出欠や賛否を問うクリップボードがしょっちゅう回ってくると思います。○や×を書くのは1秒ですが、その裏で何日も何か月も誰かが活動しています。ここはロータリークラブです。「自分には関係ない」などということはありません。割り振られた委員会活動以外でも参加出来ますので、全員が全ての活動の主人公になって頂きたいと思えます。

これで会長の時間を終わります。

## ◎幹事報告

- ・新入会員選考について書類を各ポケットに入れております。異議のある方は、本日より7日以内に理事会宛に文書にてお申立てください。
- ・茨木東 RC より例会休会変更のお知らせが届いています。
- ・2016-17年度 SCRUM が届いて居りますので、後方テーブルに置いています。ご覧ください。

## ◎委員会報告

○クラブ運営委員会 小阪 大輔

観桜会を開催いたします。回覧を回しますので、是非多くのご参加をよろしく願いいたします。

日 程 2017年4月12日(水)

13:30 高槻駅出発

14:30 奈良公園／春日大社・東大寺  
自由散策の旅

17:30 菊水楼にて会食 (移動例会)

20:30 高槻駅到着予定

会 費 会 員 ￥15,000-

ご家族 ￥5,000-

○ゴルフ同好会 佐々木 隆幸

高槻 RC ゴルフコンペを開催いたします。桜の見頃の時期だと思えますので、どうぞご参加よろしく願いいたします。

日 程 2017年4月9日(日)

場 所 アートレイクゴルフ倶楽部

## ◎卓話

### 「ロータリー雑感」 朝倉 通憲

久しぶりの卓話です。卓越した話には自信がありませんが、元職の仕事の経験談も考えましたが、取り調べや事情聴取を通して知った人の性格などを話したり、事件がらみの話は少々生臭い話でもあるし、結局ロータリーの話に落ち着いてしまい、ロータリーの原点は何かについて話したいと思います。

私はロータリーというのは、人生訓というか人としての生きざまを学ぶところ、人格形成の場なのかなと最近つくづく思います。自分を磨くのがロータリーではないかと。

私がロータリークラブに入ったのは2004年(平成16年)頃でしたからおおよそ12年余りになります。鳥取で公証人をしてた時にお世話になっていた顧問税理士さんから誘われ推薦されたからでした。友達もいない上、初めての土地での単身生活で友達ができればいいなという感覚でしたが、確かに楽しかったです。

入会するに当たってその前日だったかインフォメーションとかオリエンテーションの場を例会場のホテルの一室で食事を兼ねて開いてくれましたが、会長、幹事と研修委員というか長老のロータリアンからそれぞれロータリーとは何か、心構えといったレクチャーを受けました。その中で4つのテストを初めて知りました。現役時代には、これをモットーとしていた内容でしたので、この4つのテストには驚きました。つまり言行はこれに照らしてから①真実かどうか。②みんなに公平か。③好意と友情を深めるか。④みんなのためになるかどうか。といったことは仕事をしてたころは、このことを十分注意していたことでした。

この4つのテストはロータリアンの日常生活に密着した理念の提唱であります。当時のRI会長のハーバート・テイラーが1932年に倒産したアルミ食器会社の再建を引き受けたときにこの4つのテストを考案して社員に周知徹底させたものであります。そして皆で力を合わせてこれを実践した結果、10年後には一流企業に育て上げることができたのです。この4つのテストはみんなが同じ目的に向かって協同する場合に適用すべきものですが、この「みんな」というのは個々の解決しなければならない問題の「当事者みんな」に公平かどうか、「当事者みんな」のためになるかどうかということです。真実かどうかというのは嘘偽りはないか。本当のことなのかというその上に物事の原理・原則、根本原理に適合しているかという意味もあります。

例えば、売れ残り商品や少し傷ものの在庫商品を新品と偽って売るのは嘘になりますが、正直に傷んだ商品もありますが新品同様のものもあり格安の値段で提供すると、ありのままの広告を出したところ、客が殺到してすぐに完売になったということです。つまり客は真実を買ったわけですが、しかし、例えば医師ががん患者を思うばかり真実でないことを伝えたりした場合は良心的な医師は悩むでしょう。また家族ががん患者を思いやって嘘を伝えた場合はどうでしょうか。要するにデマや中傷を含む嘘によって被害を受ける者がいるかどうかで許されるか許されないかになるのではないかと思います。

真実は1つといいますが、もう1つの真実とか代替的な事実、嘘の事実を正当化する「オルタナティブ・ファクト」という言葉が先ごろのテレビでありました。いわゆるトランプ現象のことで、これはトランプ大統領の就任式の参加者は推定25万人というオバマ大統領の就任式当時の写真とトランプ大統領の就任式の写真を比較して、写真入での報道に対し、トランプ大統領側は150万人の参加者がいたとして、マスコミは嘘の報道をしたと言って非難しました。マスコミ側はトランプ政権側の発表は嘘だとしていますが、どう見てもマスコミ発表に信ぴょう性があるようです。嘘をつきとおせば本当になるということでしょうか。

ロータリークラブに入ってから先輩ロータリアンからやロータリー文庫やロータリー必携といった解説書を人並みに学ばせてもらいましたが、とりわけパストガバナーの伊丹ロータリークラブの深川純一さんのロータリー3分間情報や大阪南ロータリークラブの戸田孝さんの「ロータリークラブに入って良かった～素晴らしい出逢い、よき師、よき友は人生の宝」はロータリーを知る上で学ぶ上でものすごく参考になりました。

さて、きょうのテーマのロータリーの原点は何かということですが、これについては深川純一さんが言われていますが、ロータリーの組織の視点から見た場合とロータリーの思想の視点から見た場合とロータリーの実践の視点から見た場合に分けてその原点は何かを分析されています。

まずロータリーの組織の視点から見てロータリーは何かといいますと、ロータリーとは、職業倫理を重んじる実業人、専門職業人（であった者）の集まりで本来一業一会員が、クラブによっては5名位までは良いということになっていますが、そのような人が、幅広い奉仕活動に取り組み、多方面にわたって多大な貢献をしている世界的に結び合った団体であって、会員相互の親睦を第一義とした団体であり、異業種交流の場でもあり、職業に有益な情報を交換するいわゆる社交クラブであります。

ところが、ロータリーの基本原則である一業一会員制が2001年の規定審議会で廃止になり一業種に5人まで入会できるという一業多会員制に移行しました。元来一業一会員制というのは1905年にポール・ハリス自身が確立した原則であり、その意味は親睦を守るために同業者を排除しようというものであります。ところがフレデリック・シュエルドンが1908年に奉仕の概念を提唱するに及んで一業一会員制は、単に親睦のためのみならず奉仕のためのものともなったのです。一業一会員制は創立以来100年のスパンで変わったのです。しかし一業一会員制は現象の世界では消え去ったとしてもその制度そのものの本質は永久に消え去ることなく、いつかまた甦ってくるかもしれません。元に戻るのに80年100年かかるかもしれないが本質としての一業一会員制を見失うことなく維持して親睦を守るかどうかはクラブ自身が決める問題なのです。

しかしロータリーの原点は一業一会員制にあると思うので、その実現に努力すべきものと思います。当クラブでもまずは未充填業種の入会者を勧誘すべきで、入会してもらいたいと思うところあります。

基本的特質のもう一つは例会への規則的出席であります。例会は人生の道場とも人づくりの場であるとともに親睦の場なのであります。例会場での対話を通して職業上の発想の交換を通じて友情を深め自己研鑽に努めその結果として奉仕の心も育まれます。例会で学び、教え教えられたり、例会に出席することは大きな意義があり出席義務というのでなくむしろ権利とみるべきものだと思えます。

次にロータリーの思想としての視点から見てロータリーの原点は何かということですが、当初親睦だけのクラブでありましたが、ポール・ハリスは1907年ころから奉仕の概念入れ、奉仕が親睦と相いれない場合には親睦を抑えて奉仕が生きるべきだとのという立場をとりましたが、その結果親睦が崩壊してしまいました。

ロータリーにおける親睦と奉仕を上下の関係においてとらえたことの誤りに気づき、ポール・ハリスは親睦と奉仕を上下の関係においてとらえたこの親睦と奉仕は、同じレベルの概念としてとらえ、この両者はロータリークラブにおいて表裏一体の関係にあり、いずれをも優位させないとして、ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿るものだとしました。いわゆる親睦と奉仕の両輪論です。当時組織を二分するほどの意見が対立しましたが、この経験からポール・ハリスは「ロータリーは何かと問われれば自分は躊躇することなく寛容と答えるであろう」といい、更に「寛容の精神がなければロータリーは崩壊していただろう」と言われしめ、「ロータリーは寛容である。親睦も大事だが、奉仕も大事。奉仕も大事だが親睦も大事だ。自分の考えを人に押し付けてはならない。寛容の心を持たなければならない」とことを知ったのです。

このようにしてポール・ハリスは「ロータリーは寛容の中に宿る」と自覚したときで、これが思想としての視点から見たロータリーの原点です。

最後にロータリーの実践の視点から見たロータリーの原点は個人奉仕であります。ちなみにライオンズクラブは団体奉仕といわれています。ロータリーの個人奉仕では1人1人が多様性・個性をもった事業者・専門職業人です。したがってこの個性を持った1人1人が集まって団体を構成しても1人1人の個性は失われることはありません。こ

の点ライオンズクラブの団体奉仕は1人ひとりの個性がなくなってしまうと団体行動を構成します。ロータリーの個人奉仕というのは個人を育てていくことを目的にしているのです。ここにロータリーの職業奉仕論が出てくるわけです。個人の職業を通じての奉仕活動で受益者・恩恵を受ける者は誰かで区別することができます。受益者が自分自身である場合が職業奉仕であり、自分以外の地域・社会の人たちである場合が社会奉仕であれ青少年奉仕であります。ロータリークラブの値打ちはそのクラブが地域社会に対してどのような奉仕活動をしたかで決まるのではなく、そのクラブがどのような人間を育てたかによって決まるのです。要するに実践としてのロータリーの原点は個人奉仕にあるということです。

そして、ロータリー活動の基本理念としては、人道主義に基づく寛容の精神と多様性の尊重です。

「寛容」とは「寛大でよく人を許し受け入れること、とがめだてしないこと」の意味と、「異端的な少数意見発表の自由を認め、そうした意見の人を差別待遇しないこと」の意味がありますが、ロータリーの言う寛容は、専ら後段を指すのではないかと思います。

ロータリアンの基本原則は、1人1人のロータリアンは長幼の序というものはないとは言えないまでも、皆平等で上下関係はありません。皆各界のリーダーであるべき者ばかりです。よく年長者のベテランロータリアンが、他のロータリアンを褒め称えたりすることが見受けられますが、これはあまりよくないです。なぜなら、ほめるという行為には、能力のある人が能力のない人に下す評価だという側面が含まれているからです。ほめることの背後にある上下関係つまり縦の関係を象徴しているからです。人が他人をほめるときその目的は自分よりも能力の劣る相手を操作する、つまり操る行為とみられかねません。考えてみてください、我々が他の人をほめたり叱ったりするのは、つまり飴を使うか鞭を使うかの違いでしかなく、背後にある目的は操作です。人を操るという行為なのです。ただしこれは会社・企業など利益追求する場合は、競わせ、よく賞罰が使われることがよくあります。しかし、これも度を過ぎるとブラック企業としか映りません。ロータリーでは上下関係はなく横の関係対等な立場ですのでほめることは不要なのです。

横の関係に基づく援助のことをアドラー心理学では単に勇気づけと呼んでいます。ほめるより勇気づけなのです。

去年の12月の地区大会の1日目にアドラー心理学の著者の岸見一郎先生の講演がありましたが入谷幹事一緒に参加しました。アドラー心理学では、あらゆる縦の関係を否定しすべての対人関係を横にすると書いていました。そしてすべての悩みは対人関係の悩みだとして、承認欲求を否定し、他者からの承認を求めることを否定しており他者から承認される必要はなくむしろ承認を求めてはならないといっておりました。

いつも他者の視線を気にして他者からの評価におびえ、結局他者の期待を満たすことになってしまい自分の人生を他者任せにすることになるといっております。

そして課題の分離という考え方をしています。その事柄は自分の課題なのか他者の課題なのかを分離して考える必要があるとしています。なるほどと思います。勉強しない子供に親が悩んで、勉強しろと叱ります。しかし勉強するかしないかは子供の課題であって、親の課題は子供が勉強するように仕向け、環境を整えることなのです。

ちょっと時間があるようですので、付言しますが、批判を恐れるな、強くなれということです。いろんな批判を受けることがあります。そんな時は、まずその批判の正当性を見極めることです。その批判がフェアなものかアンフェアか、その批判に正当性があるのかないのか、その修正、改善は可能なものか見極めアンフェアであれば却下する。

そしてその批判の普遍性を見極めることです。普遍性なくて批判者独自の批判なのかを考える。

そして批判者に問いたです。フェアで普遍的であれば受け入れる。

そして最後に納得できるかできないかを見極め、納得できる批判なら採用する。批判を受けたときはこの4点を試みて対応してみようか。



◎2017年3月4日マレーシア・プキンタン RC と共に「デング熱撲滅プロジェクト」が開催され、藤井会長が参加されました。



◎ニコニコ箱報告

・入会記念内祝 入谷君  
・卓話を聞いていただいて

朝倉君

---

本日の合計 ¥ 10,000-  
7/1 よりの累計 ¥1,806,000-

◎R 財団への寄付

朝倉 通憲君 ¥5,000-

---

本日の合計 ¥ 5,000-  
7/1 よりの累計 ¥ 660,000-  
一人当たり平均 \$116.1

◎米山奨学会への寄付

入谷 治夫君 ¥5,000-

---

本日の合計 ¥ 5,000-  
7/1 よりの累計 ¥ 502,500-  
〔 会員より ¥255,000- 〕  
〔 クラブより ¥247,500- 〕  
一人当たり平均 ¥10,255-